			評価)						
事務事業名	中小企	:業振興資金融	資事業			事業開	始年度 平月	成26年度	
担当課	産業経	済部 商工観	光課		担当者	高	喬茉子		
■事業の執行計画					·				
	政策	04	くらしを支え	る強固な	経済基盤				
総合計画体系	施策 02 安定と発展の商工業基盤の充実と強化								
	基本事	業 01			強化支援(地		支援)		
	中小企業の運転・設備資金の融資制度を通して地元中小企業の経営支援を行う目的で制定し								
		ら市の融資制			の融資が受けら		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		
-			信用保証協会をと				は4倍、新型	ļ ¬	
		イルス感染症		. 00 0 € 1121		ם ופשמתו סע	-100 1 121 491 -	-	
	実施	(Do)	X X_16						
	27 4	年度	5年度		6年	. 度	7年	-	
事業費の推移	実績	責/当初予算	実績		実			初	
T X X V 1 E 1 J	総事業費 1.529			1	1. 491				
■前年度の事業分析【評価(Check)】									
	指標			3271	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	指和	票名称	単位	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	成果	融資枠		千円	4, 700, 000	4, 650, 000	5, 160, 000	5, 160, 000	
	成果	融資実行件数		件	121	120	120	120	
	評価	●達成、村	既ね達成した ()多少は達	成した 〇達	成できず			
達成度の	рт п		資金を活用する				業者も経堂の	安定化を図る	
評価と説明	説明		さているため成果			C 0.0 1 1 II	ж		
見直し余地 判定 ●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし									
■将来方向性【改善(Action)】									
事業の方向性 ○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了									
		. U 1712-1770 - U	0 / N C 00 / 112 1170	<u> </u>	業務量				

事務事業調書(評価)							
事務事業名	商工会	₹振興事業				事業開	始年度 平	成26年度		
担当課	産業経	経済部 商工観	光課		担当者	伊	藤美砂子			
■事業の執行計	画【計									
	政策	04	くらしを支え							
総合計画体系	施策	02		安定と発展の商工業基盤の充実と強化						
	基本事	基本事業 01 中小企業の経営基盤の強化支援(地元企業の個別支援)								
事業の目的	商工会	の運営を支援	し、商工会事業に	より市内	事業所の経営	支援が行われて	こいる。			
丰	商工業	の振興のため	の事業補助として	(、経営改	善・普及事業』	及び地域振興事	事業の50%.	以内		
事業の概要			内において氏家商							
■事業実施結果	【実施									
		年度	5年度		6年	度	7:	年度		
事業費の推移	実統	責/当初予算	実績		実	績	3	当初		
	i	総事業費	17, 627		18,	163	19	, 336		
■前年度の事業分析【評価(Check)】										
	指標	+6+	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	1日1	宗石が	中位	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果	商工会登録会員	の数	人	931	917	920	925		
	-T: /T					= 45 12 12				
\ + + -	評価			多少は達		成できず		- 41 I		
達成度の			製は年々減少傾							
評価と説明	説明に係る事業者支援等について、商工会と連携し様々な事業を実施することができた。									
見直し余地	判定	2 〇数年内	こ見直し可能 (全地はあ	るがまだ時間	が必要 〇分	≷地なし			
■将来方向性【改善(Action)】										
事業の方向性 ○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了										
資源方向性										

			評価)							
事務事業名	経営活	性化支援事業	ŧ			事業開	始年度 平	成30年度		
担当課	産業経	路路 商工額	光課		担当者	伊	藤美砂子			
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】								
	政策	04	くらしを支え	くらしを支える強固な経済基盤						
総合計画体系	施策	02			盤の充実と強	化				
	基本事業 01 中小企業の経営基盤の強化支援(地元企業の個別支援)									
事業の目的	新たな	事業活動に取	り組む中小企業者							
事業の概要			図るため、販路 <i>の</i> 組む中小企業者及							
■事業実施結果										
		年度	5年度		6年	度	丰度			
事業費の推移	実終	実績/当初予算 実績			実	績	7	前初		
	i	総事業費	5, 405		6, 1			<u>当初</u> 5, 307		
■前年度の事業分析【評価(Check)】										
	指標	+6.1		34 /L	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	打 百个	票名称	単位	実績	実績	計画	計画		
指標の推移		経営活性化支援	事業認定件数	件	14	15	15	15		
	評価	」●達成、	既ね達成した (○多少は達	成した 〇達	成できず	•	·		
達成度の		令和2年度	~令和4年度まで	「店前景観	見整備事業」「	売上アップ店	内改修モデル	事業」による		
評価と説明	説明	改修や備品	品購入を実施した	ところ、予	算規模以上の	申請があった	。令和5年度以	以降も新たな		
		事業活動に	こ取り組む中小企	業者が多く	いることから	、引き続き補	助を行ってい	' ' ' ' ' ' ' ' ' '		
見直し余地	判定	〇数年内I	こ見直し可能	●余地はあ	るがまだ時間	が必要 〇分	き地なし			
■将来方向性【		Action)]						_		
事業の方向性	〇見直	[し継続 ●明	見状どおり継続	〇廃止・						
資源方向性	予算	算額 ○拡大	、●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●	現状 〇縮小	\		

事務事業調書(通常評值		評価)						
事務事業名	企業誘	致推進事業				事業開	開始年度 平	-成19年度	
担当課	産業経	済部 商工観	光課		担当者	西	村歩		
■事業の執行計	画【計画				•				
	政策	04	くらしを支え						
総合計画体系	施策	02	安定と発展の		ì化				
	基本事	業 02	企業の誘致・	立地の促	進				
事業の目的	優良なか	企業がさくら	市内に立地する						
事業の概要	相談窓口	口となり関係	移転意向の情報を 課との調整を図る			・地権者の協力 づく奨励金のす		総合	
■事業実施結果	【実施	(Do)							
		年度	5年度		6年	F度		年度	
事業費の推移	実績	[/当初予算	実績		実績 当		当初		
		8事業費	25, 445		25,	802	48,	891	
■前年度の事業分析【評価(Check)】									
	指標	±5±	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	181	宗 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17	丰位	実績	実績	計画	計画	
指標の推移		企業誘致条例に 業等の数	基づく奨励金対象企	企業数	6	7	8	8	
	評価	〇達成、村	既ね達成した	●多少は達	成した 〇道	成できず	*		
達成度の 評価と説明	企業訪問、情報収集活動により、企業立地奨励金指定事業者を1件指定することができた。 説明								
見直し余地	判定	○数年内	こ見直し可能	全地けた	るがまだ時間	が必要 ○台	食地なし		
		ction)】	こ元旦しり形	ファンド (V)	···のい· ひ /~h41	ij <i>n :此</i> 安	ハルじょひ		
事業の方向性	●見直		現状どおり継続	〇廃止・	⇒ マ				
<u>事業の別刊ほ</u> 資源方向性									
	上昇	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	、●玩水 ○細小		未衍生		地名 〇個年	,	

事務事業調書(通常評	·価事業 事後	(評価)							
事務事業名	e — t	ownうじし	\え管理事業			事業開	始年度 平	" 成27年度		
担当課	産業経	経済部 商工観	光課		担当者	高 高	喬茉子			
■事業の執行計										
	政策	104	くらしを支え	る強固な	経済基盤					
総合計画体系	施策	02	安定と発展の商工業基盤の充実と強化							
AND IN IN IN INVESTIGATION	基本事									
		基本事業 03 まちなかのにぎわい創出(地元商店街の活性化) ・e プラザを拠点とした交流人口の増加								
事業の目的		・テナント出店による事業者育成(中心市街地への出店に繋がる)								
			る事業百百成(1 ナント(4店舗)							
事業の概要	5 / /	7多田品 7	ノン 1 (4/11 m/)	10720171	70. 龙穴 向土	マー・07女品				
■事業実施結果	【実施	(Do)								
■ず未大心心木		年度	5年度		6.4		7	年度		
市業弗の批技										
事業費の推移		_{限/ ヨ 彻 ア 昇} 総事業費	実績 4.651			積 76		<u>当初</u> 7. 329		
■前年度の事業		松争未賃 評価 (Check)	4, 001		4, /	70	Ι,	329		
■削牛及の争未		計画(GIRCK)	1	1		C左由	7左帝	0左左		
	指標	指	漂名称	単位	<u>5年度</u>	6年度 安建	7年度	8年度		
	区分				実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果	インキュベータ	施設出店者数	人	4	4	4	4		
14 M 44 14 15					•	_				
	成果	中心市街地への	出店者数	店舗	4	4	4	4		
	,,,,,,			·	•		,	<u> </u>		
	評価		既ね達成した			成できず	_			
達成度の			トント(インキュ		西設)で4店舗7	が営業している	る。テナント	卒業の4店舗が		
評価と説明	説明	▍ 中心市街均	也にて開業してい	る。						
見直し余地	判定	〖 ●数年内	に見直し可能 (<u>) 余地はあ</u>	るがまだ時間	が必要 〇分	≷地なし			
■将来方向性【改善(Action)】										
事業の方向性			見状どおり継続	〇廃止・						
資源方向性	予算	算額 〇拡大	、●現状 ○縮小		業務量	○拡大	現状 〇縮/	\ 		

	通常評価		:評価)							
事務事業名	街の駅本	陣運営事業				事業開	始年度 平	成16年度		
担当課	産業経済	部 商工観	光課		担当者	高清	喬茉子			
■事業の執行計	画【計画	(Plan)				,				
	政策	04	くらしを支え	える強固な	経済基盤					
総合計画体系	施策	02	安定と発展の)商工業基	盤の充実と強	化				
	基本事業	03	まちなかのに			街の活性化)				
+ W 0 1 4 4		・さくら市民並びに観光客が快適に、会議室、トイレを使用する。								
事業の目的	・テナント出店による事業者育成(中心市街地への出店に繋がる)									
			場所の提供、公衆		3 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1					
事業の概要	2階:会		2771-732-1711 71	· · · ·						
■事業実施結果		Do)								
		丰度	5年度		6年		高橋茉子 T年度			
事業費の推移	実績/当初予算 実績				実績					
1.21.35.07.112.12		事業費	2, 699		2, 821					
■前年度の事業分析【評価(Check)】										
	指標		= <i>p 1</i> L	224 / L	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	指	票名称	単位	実績	実績	計画	計画		
15.1± 0.14.15		= *			C	7	10			
指標の推移	成果会	議室利用回数		回	6	1	10	10		
	評価	〇達成、村	既ね達成した	●多少は達	成した 〇達	成できず		,		
達成度の		街の駅本陣	車のテナントに新	規出店者は	はあったものの	、会議室の利	用が低調であ	る。		
評価と説明	説明									
	1,0 , ,									
見直し余地	判定	〇数年内(こ見直し可能	●余地はあ	るがまだ時間	が必要 〇分	※地なし			
■将来方向性【改善(Action)】										
事業の方向性	●見直し	継続 〇明	状どおり継続	〇廃止・	完了					
資源方向性	予算額 ○拡大 ●現状 ○縮小 業務量 ○拡大 ●現状 ○縮小									

	通常評価事業		評価)						
事務事業名	商業まちづく		育成事業			事業閉	開始年度 平	成26年度	
担当課	産業経済部	商工観	光課		担当	者 伊	藤美砂子		
■事業の執行計	画【計画(P	lan)							
	政策	04	くらしを支え	る強固な	経済基盤				
総合計画体系	施策	02		安定と発展の商工業基盤の充実と強化					
	基本事業	03	まちなかのに	出(地元商	店街の活性化)				
事業の目的	商業まちづく	り団体の	の活動が活発に行						
事業の概要			に活動している団 くり委員会 (2)			ト実行委員会			
■事業実施結果	【実施(Do)								
	年度		5年度		6	年度	74	<u></u> 丰度	
事業費の推移	実績/当初-	予算	実績		実績		当初		
	総事業費 0					187	2, 8	324	
■前年度の事業分析【評価(Check)】									
	指標	+6+	西夕圻	** / +	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	扫作	票名称	単位	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	活動 商業ま の数	ちづくり[団体が主催する事業	件	0	1	2	2	
	評価 〇	達成、村	既ね達成した (○多少は達	成した ●	達成できず		•	
達成度の	き	つれ川ス	くリーバードマー	ケットがR6	ôから再開し	、2事業に協力	した。今後も	新規事業の開	
評価と説明	説明催	等につい	ヽて補助金を交付	するなど協	引を行う。	また、21商業街	づくり委員会	にも再開を検	
	討	してもら	うう。						
見直し余地	判定 〇	数年内间	こ見直し可能 (●余地はあ	るがまだ時	間が必要の名	余地なし		
■将来方向性【改善(Action)】									
事業の方向性	〇見直し継糸	売 ●瑪	状どおり継続	〇廃止・	完了				
資源方向性	予算額	〇拡大	●現状 〇縮小		業務	量 ○拡大 ●	●現状 〇縮小	\	

事務事業調書(通常評	F価事業 事後	(評価)					
事務事業名	市営馬	注車場委託事業	Ę					成26年度
担当課	総合政	放策部 財政認	₹		担当者	田 ·	代 紗英香	
■事業の執行計	画【計	·画(Plan)】						
	政策	04	くらしを支え	える強固な	経済基盤			
総合計画体系	施策	02	安定と発展の商工業基盤の充実と強化					
	基本	事業 03	まちなかのに	こぎわい創	出(地元商店	街の活性化)		
事業の目的	市営駅	主車場の維持管	理を行い、市民に	駐車場を打	是供することを	を目的として乳	ミ施	
事業の概要	委託業	と者が行ってい	定期駐車場の申込 る。	₹₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩	又を職員が行し	ゝ 。コインパー	-キングの運営	営を
■事業実施結果	【実施	i (Do)						
		年度	5年度		6年	度	7년	丰度
事業費の推移	実	績/当初予算	実績		実績		当初	
		総事業費	6, 206		3, 6	89	3, 8	897
■前年度の事業分析【評価(Check)】								
	指標	塢	標名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度
	区分	10,	未口小	+12	実績	実績	計画	計画
指標の推移	活動	駐車場利用台数		台数	44, 767	44, 644	44, 600	40, 300
	評估	五 ●達成、	概ね達成した ()多少は達	成した 〇達	成できず		
達成度の		新型コロラ	トの影響により、	数年間利用	者台数が減少	していたが、	令和年5度から	う例年並みに
評価と説明	説明	月 □復し、⁴	令和6年も例年程	度まで回復	した。ただし	、指定管理者	から直営によ	る運営に変更
	したことにより、職員の事務負担が増加した。							
見直し余地	判员	と ●数年内	に見直し可能 (O余地はあ	るがまだ時間	が必要 〇分	≷地なし	
■将来方向性【改善(Action)】								
事業の方向性	●見頂		見状どおり継続	〇廃止・				
資源方向性	予:	算額 〇拡大	、●現状 ○縮小		業務量	○拡大	現状 〇縮小	\

			:評価)								
	和い話	5い広場管理選	営事業			事業開	開始年度 平	·成27年度			
担当課	産業組	E済部 商工額	光課		担当者	青	木聖真				
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】									
	政策	04	くらしを支え	る強固な	経済基盤						
総合計画体系	施策	02	安定と発展の商工業基盤の充実と強化								
	基本事	基本事業 03 まちなかのにぎわい創出 (地元商店街の活性化)									
事業の目的	喜連川	商店街の賑わ	い創出								
事業の概要	する。	喜連川観光協	た和い話い広場 <i>の</i> 会へ和い話い広場				字の賑わいを創	訓出			
■事業実施結果	【実施	(Do)									
		年度	5年度		6年	度	73	年度			
事業費の推移	事業費の推移 実績/当初予算		実績	実績実績				当初			
		総事業費	1, 384		1, 1	54	1,	708			
■前年度の事業分析【評価(Check)】											
	指標	培	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度			
	区分	101	ホコリツ	+12	実績	実績	計画	計画			
指標の推移	成果	来店した観光客	の数	件	1, 056	921	1000	1000			
	評価	i ●達成、	既ね達成した ()多少は達	成した 〇達	成できず	•	•			
達成度の			5月より新型コロ			ン、観光客がブ	大幅に増加し7	たが、令和6年			
評価と説明	説明		増減がなかった								
見直し余地 判定 ○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし											
■将来方向性【改善(Action)】											
事業の方向性	●見直		!状どおり継続	〇廃止・							
資源方向性	予算	算額 〇拡大	:●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●	現状 〇縮小	\			

			評価)								
事務事業名	商店街	の景観・ホス	スピタリティ向上	.事業		事業開	始年度 令	內和元年度			
担当課	産業経	済部 商工観	光課		担当者	高 高	喬茉子				
■事業の執行計											
	政策	04	くらしを支え	る強固な	経済基盤						
総合計画体系	施策	02	安定と発展の)商工業基	盤の充実と強	让化					
10 11 11 11 11		本事業 03 まちなかのにぎわい創出(地元商店街の活性化)									
			売上1.1倍」のた。				(おもてなし	.表			
事業の目的		向上を図る。	70		100 3/2 15/15/20 0 1 1	,,_,,,	(00 0 0 0 0	72			
			による通行者数の)増加」及7	び 「商店の店員		てなし表現	の向			
事業の概要			客単価の増加」を			, 101110000	0.0000	07 []			
■事業実施結果	【実施			1EXE 7 0 8							
- 子木人心叫木		年度	5年度		6年		要求的证据,				
事業費の推移	宝彩	 責/当初予算	実績			績		当初			
ず未良の証物		総事業費	677					336			
総事業費 677 3,222 1,336 1,336 1 m 前年度の事業分析【評価(Check)】											
■前十及の手木	指標			I .	5年度	6年度	7年度	8年度			
	区分	指	票名称	単位	実績	実績	計画	計画			
指標の推移	成果	デザイン作成を	実施した件数	件	33	33	33	33			
	評価	」●達成、	既ね達成した (タルけき	成した ○洋	L 試びきず					
達成度の	計皿		<u> </u>				灾胆纵壮答!	用を行ってい			
	=∺ □□		- 基 フさ 成修した 喜連川図書館入				全间框材管式	里を11つてい			
評価と説明	説明	る。また、	各理川凶音貼入	口周边工机	2利用計画を束	正した。					
<u>見直し余地 判定 ●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし</u>											
■将来方向性【改善(Action)】											
事業の方向性 ●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了 資源方向性 予算額 ●拡大 ○現状 ○縮小 業務量 ○拡大 ●現状 ○縮小											
資源方向性		早組 □ 払入	、○現状 ○縮小		業務量	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	現状 〇縮/	1,			

, ,,,, , , , , , , , , , , , , , , , ,			評価)							
事務事業名	中心市	街地活性化推	進事業				始年度 平	成26年度		
担当課	産業経	経済部 商工観	光課		担当者	伊達	藤美砂子			
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】				•				
	政策	04	くらしを支え	える強固な	経済基盤					
総合計画体系	施策	02			盤の充実と強	i化				
	基本事	基本事業 03 まちなかのにぎわい創出(地元商店街の活性化)								
事業の目的			中心市街地に商店			する。				
事業の概要	〇空き	店舗の改修に	係る費用および年	度内の家賃	責の一部を補 り	かする。				
■事業実施結果	【実施	(Do)								
		年度	5年度		6年	度	7年度 当初 6,529 6年度 7年度 8年度 実績 計画 計画 5 5 45 50			
事業費の推移	実終	責/当初予算	実績		実	績	<u> </u>	前初		
	i	総事業費	1, 100		1, 9	44	6, 5	美砂子 7年度		
■前年度の事業分析【評価(Check)】										
	指標	+6+	票名称	単位	5年度	6年度				
	区分	打 目1	宗石孙	単位	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果	補助金を活用し	た出店件数	件	2	2	5	5		
	八木	数	て賑わい創出のべ件	件	38	40	45	50		
	評価	■ 〇達成、	既ね達成した	●多少は達	成した 〇達	成できず	•	·		
達成度の 評価と説明	説明	市、商工会、金融機関において、空き店舗情報や、補助制度・融資の案内など連携して行う								
A. III — A. O. V.										
見直し余地	判定	●数年内	こ見直し可能 (O余地はあ	るがまだ時間	が必要 〇分	≷地なし			
■将来方向性【改善(Action)】										
事業の方向性		[し継続 〇明	見状どおり継続	〇廃止・	完了					
資源方向性	予算	算額 ○拡大	、●現状 〇縮小		業務量	○拡大	現状 〇縮小			

事務事業調書(通常評		(評価)							
事務事業名	地場産	商品開発普及	と 事業			事業開	始年度 平	成24年度		
担当課	産業経	済部 商工観	光課		担当者	伊萨	藤美砂子			
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】				<u> </u>				
	政策	04	くらしを支え	る強固な	経済基盤					
総合計画体系	施策 02 安定と発展の商工業基盤の充実と強化									
	基本事	業 04	さくらブラン							
事業の目的		小麦を使用し				画所ができる 。				
事業の概要	氏家う	どんの開発普	及を推進するため)氏家商工会	会に補助金を多	で付する。				
■事業実施結果	【実施	(Do)								
		年度	5年度		6年	度	7:	年度		
事業費の推移	実績	責/当初予算	実績		実	績	=	7年度 当初		
	糸	総事業費	800		80	00	{	300		
■前年度の事業分析【評価(Check)】										
	指標	+6+	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	1 日1	宗石你	平位	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果	氏家うどん取扱	い店の数	店	16	16	18	20		
	評価	●達成、	既ね達成した ()多少は達	成した 〇達	成できず	•			
達成度の		取扱店が均	曽加し、積極的に	イベントへ	の参加や、市	内小学校と連	携して氏家う	どんの絵画・		
評価と説明	取扱店が増加し、積極的にイベントへの参加や、市内小学校と連携して氏家うどんの絵画・ 説明 ポスターの募集、さくらテラスでの展示を実施することができた。									
見直し余地	判定	〇数年内	に見直し可能 (余地はあ	るがまだ時間	が必要 〇分	≷地なし			
■将来方向性【改善(Action)】										
事業の方向性 ○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了										
資源方向性	予算		、●現状 〇縮小		業務量	O拡大 ●	現状 〇縮小	١		

事務事業調書(通常評	価事業 事後	評価)									
事務事業名	さくら	ブランド認証	E事業			事業開始年度 平成25年度						
担当課	産業経	済部 商工観	光課		担当者	高河	橋茉子					
■事業の執行計	画【計画(Plan)】											
総合計画体系	政策 04 くらしを支える強固な経済基盤											
	施策	02	安定と発展の)商工業基	工業基盤の充実と強化							
	基本事業 04 さくらブランドの推進											
車業の日的	さくら市の特産品をブランドとして認証し、情報発信することにより、地域(経済)の活性											
	化を図る。											
—	市内特産品をさくらブランドとして認証する事業を行う。											
事業の概要												
■事業実施結果	【実施	(Do)										
		年度	5年度		6年度		7年度					
事業費の推移	実終	実績/当初予算 実績			実績		当初					
		総事業費	883		434		2, 115					
■前年度の事業	分析【	評価 (Check)]									
	指標	指標 指標名称		単位	5年度	6年度	7年度	8年度				
指標の推移	区分	打日1	宗	甲亚	実績	実績	計画	計画				
	成果	ブランド認証品	□ *h	件	25	27	28	29				
	八 未	ノブノト認証品	ブント認証前日数		20	21	20	29				
	成果	認証品取扱店舗	数(氏家うどんの製	冶	41	41	43	45				
		造店+飲食店+			• •		40	40				
	評価 ○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず											
達成度の	さくらブランドとしての品質向上等のため、一時的に申請を制限している。											
評価と説明	説明											
見直し余地	判定 ●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし											
■将来方向性【												
事業の方向性 ●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了												
資源方向性	予算	予算額 ┃○拡大 ●現状 ○縮小 業務量 ┃○拡大 ●現状 ○縮小										

事務事業調書(通常評価	_ , , , , , , ,	評価)									
事務事業名	企業振り	興協議会補助	事業			事業開始年度 平成28年度						
担当課	産業経済	斉部 商工観	光課		担当者	伊萨	藤美砂子					
■事業の執行計画【計画(Plan)】												
総合計画体系	政策	04		る強固な経済基盤								
	施策 02		安定と発展の)商工業基	盤の充実と強	化						
	基本事業 06		市内企業のPR									
事業の目的	人材の確保、共通する課題の対策に取り組むことで市内企業を支援し、地域経済の活性化を 図る。											
事業の概要	企業、金融機関、商工会、ハローワーク、市が連携し、企業の抱える問題や課題の対策を図る事業を実施する。											
■事業実施結果	【実施	(Do)										
事業費の推移		年度	5年度		6年度		7年度					
	実績	/当初予算	実績	実績		実績		当初				
		事業費	3, 000		3, 000		2, 500					
■前年度の事業		平価 (Check)										
指標の推移	指標	指	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度				
	区分	101	ホロ イイク ・	+12	実績	実績	計画	計画				
	成果 🖆	企業振興協議会 :	会員数	人	117	119	120	125				
	評価 ○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず											
達成度の	実施事業の周知や企業訪問による勧奨等により、会員企業を増加することができた。											
評価と説明	説明											
	セミナー・企業との交流会及び企業見学会の実施ができなかった。											
見直し余地	判定 ○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし											
■将来方向性【改善(Action)】												
事業の方向性 ○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了												
資源方向性	予算	額 〇拡大	:●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●	現状 〇縮小	,				